

# 第52回 ながのアビリンピック

## 【ビルクリーニング】種目 課題

### 第1 競技全般に係る注意事項

1. 課題の時間が定められています。

課題 : 10分（弾性床事務所清掃）

12分で打ち切りとします

2. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
3. 競技採点は、作業動作（手順）、仕様誤り、作業態度、作業準備・後片付け、作業時間の5面から審査し、加点方式によって行われます。
4. 標準時間を超過した場合は減点となります。

#### （挨拶例）

作業場所に最初に入室する時 : 「失礼します」と一礼し、入室する。

作業中の作業場所出入り時 : 軽く会釈をして出入りする。

作業場所を最後に退室する時 : 「失礼しました」と一礼し、退室する。

5. 作業に適した服装をしてください。
6. 作業開始の指示（予告）は、審査委員が行います。「始めます。」「終わりました。」の申告は、競技者自身で行ってください。
7. 各作業は、使用した資機材を手入れした後、指定された場所へ片付けて完了とします。
8. 「始めます」「終わりました」の申告と、入室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は競技中に声を出さないでください。

### 第2 競技に使用する資機材に係る注意事項【課題：弾性床事務所清掃】

1. 作業面積は、 $16\text{ m}^2$ （4<sub>メートル</sub> x 4<sub>メートル</sub>）の広さです。
2. 床面の掃き・拭き作業及びゴミ処理・机上拭きの作業です。
3. 作業に使用する、資機材・消耗品は、作業カート（台車）に載せてあります。作業前に、競技者自身で揃っているかを点検してください。
4. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に競技者自身で作業しやすい長さに調節してください。
5. ダスタークロスは、競技者自身で作業前に取り付けて点検してください。
6. 幅木（金枠）の上には壁があるものとして、作業を行ってください。

#### （注意）

作業者の身体や資機材を幅木（金枠）より外に出さないように注意しながら作業をしてください。

7. 作業場所にある机は、移動させないでください。
8. 使用した資機材は、作業カートの指定された位置へ片付けてください。
9. モップ拭きは水拭きです。

10. 競技場に準備されているもの ※数量は競技場1面の数

品 名	寸法又は規格	数 量
机	ビルクレーニング技能検定資機材に準拠	1 台
ゴミ箱	角型	1 個
作業用カート	ビルクレーニング技能検定資機材に準拠	1 台
作業標示板		1 個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1 本
ラーグ（モップ房）	260 <sup>グラ</sup> 白色	1 枚
小型片手ぼうき	30cm幅用	1 本
乾式モップヘッド	63cm	1 個
文化ちり取り	ビルクレーニング技能検定資機材に準拠	1 個
タオル	無地 水拭き用（青色）1枚、 から拭き用（白色）1枚	2 枚
ダスタークロス	69cm幅の不織布	1 枚
ゴミ袋	ゴミ箱用替袋	1 枚
入口マット		1 枚

11. 競技者が持参するもの

品 名	寸法又は規格	数 量
作業着（上・下）		1 着
作業帽又は三角巾		1 個
作業靴		1 足

（注意1）

持参するものは、上記のものに限るが、同一種類の物を予備として持参することは、差し支えありません。

（注意2）

作業帽の定めのない職場・学校の競技者は、野球帽のような帽子でも可とします。

### 第3 競技方法・競技会場の概略について【課題：弾性床事務所清掃】

#### 1. 競技時間

10分（競技開始の申告 ～ 競技終了の申告まで）

#### 2. 競技の内訳

(1) 資機材の準備

(2) 資機材の点検

(1) と (2) は、競技時間（10分）には含まれませんが、採点の対象になります。
--

(3) 競技開始の申告

(4) 作業準備

(5) 入室の挨拶

(6) 椅子あげとゴミ処理

(7) 除塵を行う（乾式モップと小型片手ぼうきを使った掃き作業）

(8) モップを使って水拭き

(9) 机上拭き

(10) 点検

(11) 退室の挨拶

(12) 資機材の片付け

(13) 競技終了の申告

#### 3. 競技場の数

1面用意されています。

#### 4. 競技の方法

1面で1人ずつ競技を行います。

#### 第4 競技課題【課題：弾性床事務所清掃】

##### 1. 競技（作業）の手順・仕様

##### （1）資機材の準備・点検

作業工程	作業方法	補足事項
1) 資機材の準備	① ワンタッチモップ柄の長さを調整し、作業カートの所定の位置に収める。 ② ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着する。 ③ モップ柄は、所定の位置に立てる。 ④ 乾式モップヘッドは、カート上部の所定の位置に置く。	・資機材の準備終了後、審査委員の指示に従い、競技（作業）の準備に入る。
2) 資機材の点検	① 所定の位置に資機材が準備されているか点検する。	・異常があれば申し出る。

##### （2）競技（作業）の手順・仕様の詳細

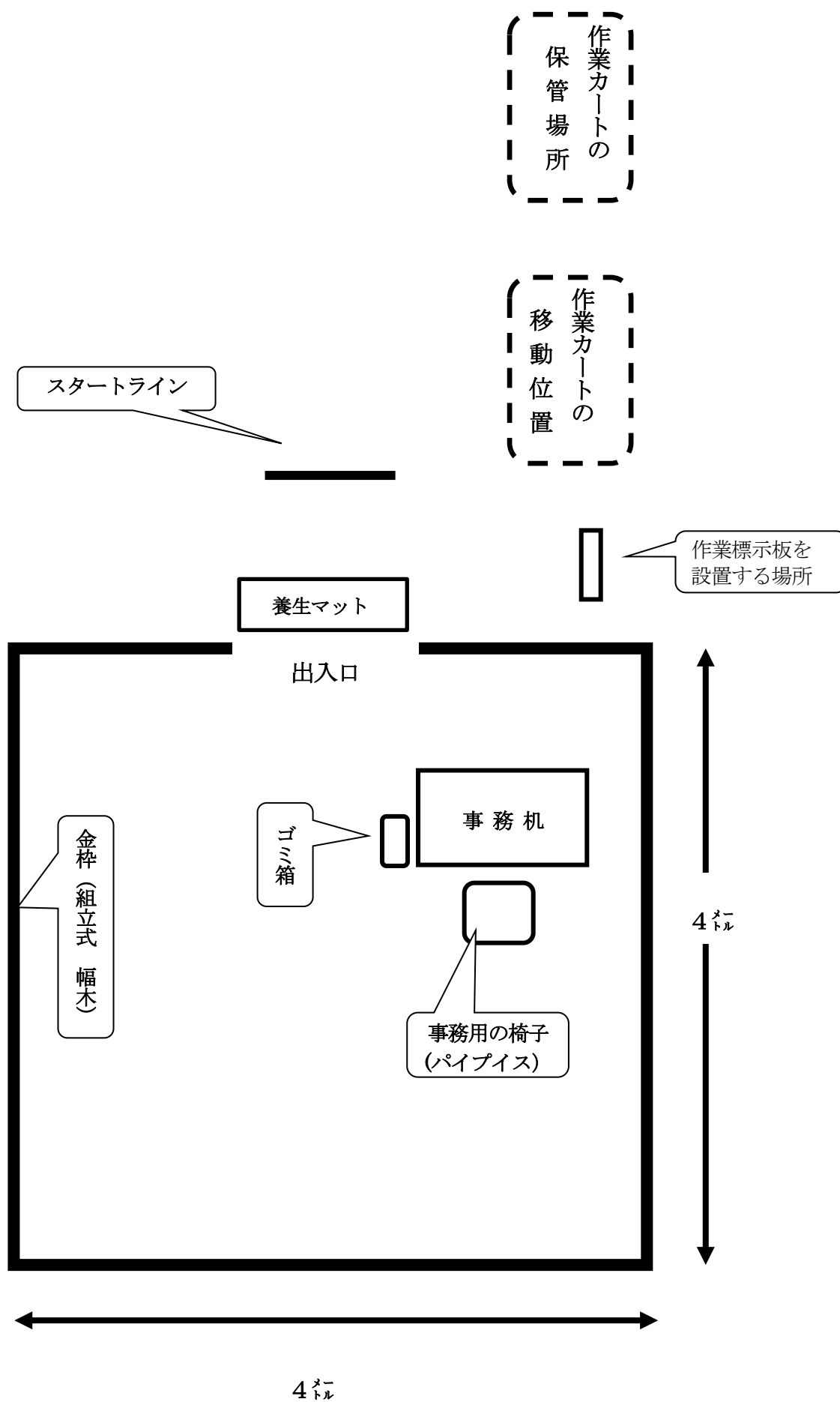
作業工程	作業方法	補足事項
	① 審査委員が「始めてください。」と告げます。	
3) 競技開始の申告 (計時開始)	① スタートラインに立って名前を名乗り、「始めます。」と挨拶を行い、作業を開始する。	・競技（作業）開始を申告する。 ・片手を上げ、開始宣言を行う。
4) 作業準備	① 作業カートを、保管場所から作業場所の近くに移動する。 ② 作業標示板を立てる。	・作業がしやすく、迷惑のかからない場所に、作業カートを移動する。 ・作業場の外側を、廊下と想定します。
5) 入室の挨拶	① 出入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼し、入室する。
6) 椅子あげとゴミ処理	① 椅子を机の上にあげる。  ② ゴミ箱にセットされているゴミ袋を、袋ごと処理する。	・机は動かさない。 ・椅子を机の四隅から、はみ出さないように正しく載せる。 ・ゴミ袋のまま入れる。 ・中身は出さない。

作業工程	作業方法	補足事項
6) (続き)	③ ゴミ袋を、作業カートの袋に入れる。 ④ ゴミ袋のスペアを作業カートから取り出し、ゴミ箱にセットする。 ⑤ ゴミ箱を机の上にあげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ袋を正しくセットする。</li> <li>・ゴミ箱を机の四隅から、はみ出さないように正しく載せる。</li> </ul>
7) 除塵を行う (掃き掃除)  ※別添1. 作業手順参照		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの上を歩かない。</li> <li>・モップ柄、小型片手ぼうき、文化ちり取りは、機材が縦方向になるように持ち歩く。</li> </ul>
	① 乾式モップヘッドをモップ柄に装着する。 ② 乾式モップを持ち、外から出入口の内側の除塵を行う。 ③ 中に入り、幅木側、机の下、中央部の順番に除塵を行う。 ④ 前進しながら、ゴミを出口に向かって1カ所に集める。 ⑤ モップヘッドを、モップ柄から外す。 ⑥ ダスタークロスを、モップヘッドから外す。 ⑦ ダスタークロス、モップヘッドとモップ柄を持って室外に出る。 ⑧ モップ柄を作業カートの所定の位置に収め、モップヘッドをカート袋の上に置き、ダスタークロスのカートの袋の中に入れる。 ⑨ 小型片手ぼうきと文化ちり取りで、ゴミを取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出入口の養生マットの上で装着作業を行う。</li> <li>・ゴミを取り残さない。</li> <li>・ゴミを踏まないように足場を確保する</li> <li>・中央部では乾式モップのヘッドを回しながら、ゴミを集める</li> <li>・ヘッドを床から離さない</li> <li>・ヘッドはスポンジ面を上にして置く。</li> <li>・小型片手ぼうきは片面のみ使用する。</li> </ul>

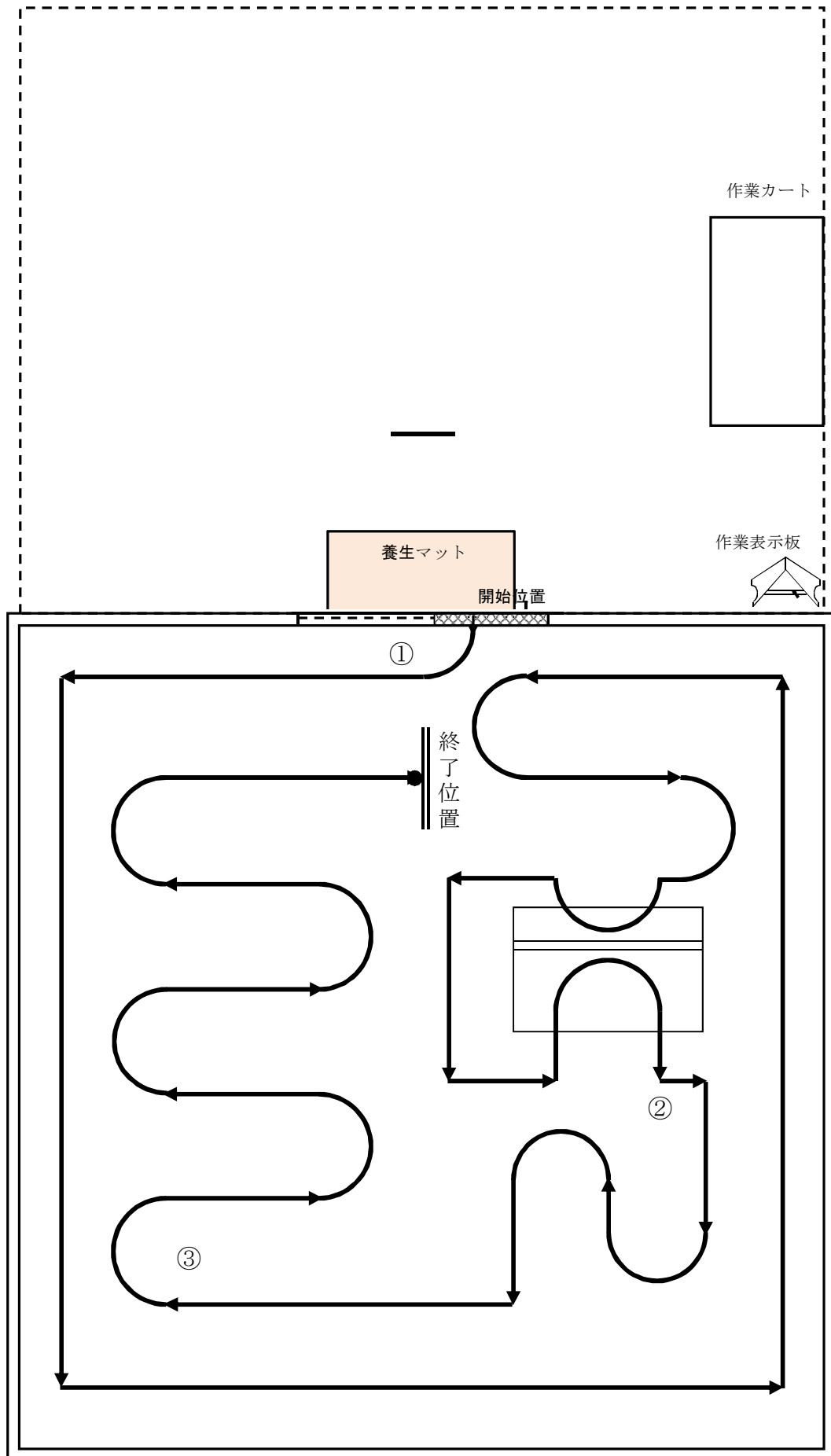
作業工程	作業方法	補足事項
7) (続き)	⑩ ゴミの取り残しが無いか、点検を行う。 ⑪ 小型片手ぼうきと文化ちり取りを、作業カートの所定の位置に収める。	・机の下も点検を行う。
8) モップを使って水拭き  ※別添2. 作業手順参照		・水拭きした場所の上を歩かない。 ・拭き残し、拭きむらのないように。 ・モップ柄（水モップ）は、機材が縦方向になるように持ち歩く。 ・モップは、時々裏返し全体を使って拭く。
	① モップ房糸を、モップ柄に装着する。 ② 水モップを持ち、作業場内に入る。 ③ 幅木側、机の周り・下（片側）、中央部、机の下（片側）、中央部の順番に拭く。 ・コーナー周辺・机の脚元は、房糸に手を添えて拭く。 ・中央部では、モップを横拭きとし、後退しながら拭く。  ④ 出入口部分では、外に向かって進む。（後退姿勢） ⑤ モップ房糸をモップ柄から外す。 ⑥ モップ房糸とモップ柄を、作業カートの所定の位置に収める。 ⑦ 作業場内に戻り、ゴミ箱を机の上から降ろす。 ⑧ 椅子を机の上から降ろす。  ⑨ 作業カートの位置に戻る。	・出入口の養生マットの上で装着作業を行う。  ・幅木、机の脚部に触れないように拭く。 ・机の下周りを残さないように拭く。 ・横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。  ・出入口では、房糸に手を添えて拭く。 ・出入口の養生マットの上で、脱着作業を行う。  ・椅子を所定の位置に戻す。

作業工程	作業方法	補足事項
9) 机上拭き ※別添3. 作業手順参照	<p>① 湿ったタオル（青色）を利き手に持ち、乾燥したタオル（白色）を反対の手に持つ。</p> <p>② 湿り拭きを行う。 ・四隅・横・縦の順に拭く</p> <p>③ タオルを持ち替える。</p> <p>④ 乾き拭きを行う。 ・四隅・横・縦の順に拭く</p> <p>⑤ タオルを作業カートの所定の位置に収める。</p>	<p>・タオルが汚れたら、きれいな面を出して拭く。</p> <p>・タオルは八つ折りで使う。</p> <p>・机の後ろ側（椅子の反対側）に立つ。</p> <p>※別添4. 机上拭き作業立位置参照</p>
10) 点検	<p>① 作業場内に戻る。</p> <p>② 指さし及び目視による点検を行う。</p>	<p>・資機材の忘れ、ゴミの取り忘れなどの点検を行う。</p>
11) 退室の挨拶	<p>① 出入口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。</p>	<p>・「失礼しました」と一礼し、挨拶する。</p>
12) 資機材の片付け	<p>① 作業標示板を作業カートの所定の位置に収める。</p> <p>② 作業カートを保管場所に戻す。</p>	
13) 競技終了の申告 (計時終了)	<p>① スタートラインに立って「終わりました。」と挨拶を行い、作業を終了する。</p>	<p>・競技（作業）終了を申告する。</p> <p>・片手を上げ、終了宣言を行う。</p>
(競技終了後)	<p>① 審査委員の指示に従ってください。</p>	<p>・補助員が誘導します。</p>

## 2. 競技場の概略







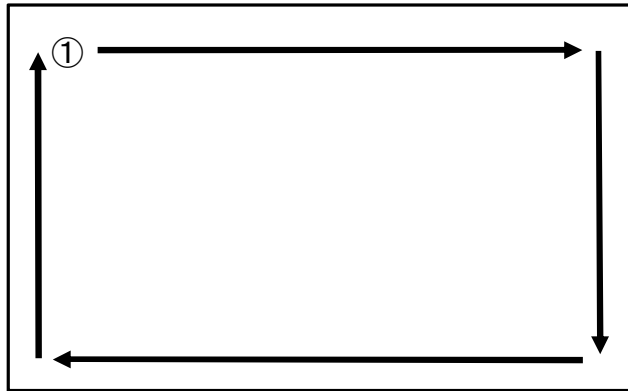
注：乾式モップのヘッドを振る回数ではありません



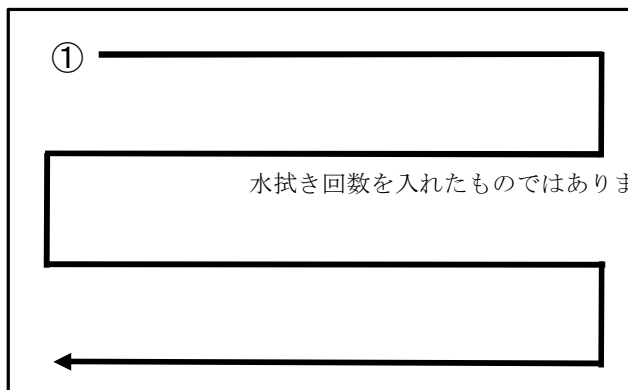
### 別添3

## 机上拭き作業手順

● ← 立ち位置

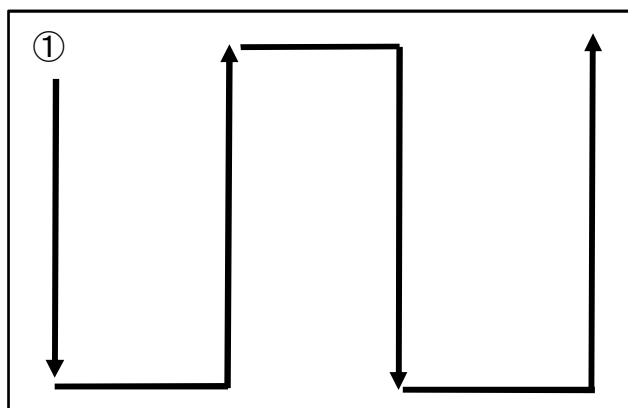


・四角く、縁にそって拭きます。



・横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。（このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより往復の回数が異なります。）

水拭き回数を入れたものではありません。



・縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。（このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は異なります。）

・乾き拭きも同じように行います。



注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。  
左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。

